

町の人口

昭和39年2月1日現在
 総人口 27,953人
 内{男 13,604人
 女 14,349人
 世帯数 7,996戸
 転入(1月中) 204人
 転出(1月中) 173人



1964. 2. 15
 No. 42

発行所 福生町役場
 発行兼 総 務 課
 編集人
 印刷所 昭和印刷KK



住民ホール

3 月 の
広報ふつき

●所得税の確定申告(3月1日ー3月16日)
 確定申告についての解説は、主として納税面の注意事項を一般に知らせるるもに、三月十五日までに必ず申告と納税をすませよと、また三月十五日は青色申告の申請期限でもあるので、期限内に申告書を出すよう勧めると。なお納税相談の態勢も昨年から整備されたので、気軽に税務署や役場に向いて、税金のことならなんでも相談するようにしよう。
 (国税庁広報官室)

●固定資産課税台帳の縦覧(3月1日ー3月20日)
 土地や家屋、機械設備などの物件については、地方税として固定資産税が課されている。この課税の基礎となる台帳を実際の課税される以前の段階で納税者に縦覧させる制度ができて、いるので、今限がある場合には三月三十一日までに、市町村におかれて、いる評価審査委員会に申し出るようにしよう。
 (自治省税務局)

●耳の日(3月3日)
 一般に聴覚に関する知識が乏しいため、治療できる障害を不慮のものにしたり、また学童などで、聴力の障害が知能障害と見誤られれている場合も少なくない。そこで耳の日に際しては、聴覚障害の予防と耳疾患の治りようについて指導し、また騒音防止について一般の協力を求め、音に関する生活文化を一層豊かなものにしていくよう努めたい。
 (厚生省総務課)

●第二十八回「押し葉」展(3月1日ー3月31日)
 (東京・国立科学博物館)
 若手の外国植物を除いては、ほとんど国内の植物の葉を標本にしたものやその写真などで、約五百種類にも及んでいる。観出者は専門家を除く一般人であるが、青少年の理科教育にも参考になるので、特に観覧をすすめたい。
 (文部省広報官室)

●国土緑化運動強調期間(3月1日ー3月31日)
 行楽シーズンの開幕する三月を迎えて、各都道府県でも、国土を美しくする運動に努める熱意と気運が高まってきて、いるので、緑化運動とあわせて国土美化運動を積極的に推進するよう呼びかけていた。
 (新生活運動協会広報部)

●消防記念日(3月7日)
 昭和二十三年三月七日、消防組織法が施行されて、従来警察のなかにあった消防が、自治体消防として独立した日。ちょうど春の火災シーズンはいり、春の火災予防運動(2月28日ー3月13日)でもあるので、これに結びつけて火災予防思想を高めたい。
 (消防庁)

議事録

教育委員に

篠崎俊夫氏を選任

第一回福生町議会議臨時会が去る二月七日に開催されまし

日程どおりに各議案が慎重に審議され、その結果、十一の議案が可決になり、また請願一件、陳情一件の審査の報告がありました。

提出された議案
▽議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改訂(議案第一号)
▽福生町の一般職員の給与に関する条例の一部を改正する条例(議案第二号)
▽福生町役場の位置に関する条例の一部を改正する条例(議案第三号)

庁舎の完成に伴い、福生町役場の位置が変つたもの。
▽西多摩衛生組合規約の一部を改正する規約について(議案第四号)

し尿処理施設建設事業が完了し、その施設の運営を図る段階に至つたので改正するもの。
▽加美平土地区画整理事業の昭和三十八年度実施に関する協定の同意方について(議案第五号)

福生都市計画福生加美平土地区画整理事業の昭和三十八年度実施に關して財団法人東京都新都市建設公社と協定す

るもの。
▽二・二・二・都市計画街路整備事業起債について(議案第六号)
起債額 一〇〇万円
借入先 東京都

借入年度 昭和三十八年度
▽財産処分について(議案第七号)
庁舎完成にともない旧福生町役場庁舎及び附属建物を取りこわすもの。

▽庁舎建設事業起債について(議案第八号)
起債額 一、三〇〇万円
借入先 政府資金
借入年度 昭和三十八年度

▽土地買収契約について(議案第九号)
公益質屋移転新築工用用地契約の金額 一、二〇〇万円
▽福生町公益質屋移転新築工事契約について(議案第十号)

建設場所 本町二五番地
契約金額 三八〇万円
▽福生町教育委員会委員の選任同意について(議案第十一号)

昭和三十八年十二月三十一日付で辞職された前教育長橋本兵五郎氏の後任に前助役の篠崎俊夫氏が教育委員会委員に選任、その同意を求めるもの。

審査報告

▽福生町電報電話局職員人事異動に伴う請願書(請願第一〇号)

公社並労働協約に基き、当然双方において解決すべきもの等の理由で不採択
▽駐留軍関係離職対策拡充に關する陳情(陳情第八号)
採決の上執行機関に送付すべきものと決定した。

熊川公園

整備中です

この熊川公園は、熊川神社の境内にあり昭和三十八年三月に第一期工事が完成し、以後附近の自然環境を盛り上げておられます。

いま行なわれている工事は、遊戯施設(砂場、ベンチ、四角の部屋、六角の柱)照明施設、その他使所等公園の整備や最後の仕上げ工事です。

工費は一八〇万円です。三月三十一日完成を目ざして、目下順調に進んでいます。

桜の花のさくころ、子供たちの楽しそうな笑声が、はげいなることでしょう。

たばこは 町内で 買います

スポーツ

緑というもの

全国緑化運動が三月一日から始まります。緑は人間の活動のオアシスであることはいままでもないが、とくに産業人にとつて「緑十字」は安全のシンボルでもあります。緑化運動を機会に職場にも家庭にも緑をたくさん添えたいものです。

緑というものは、生命のしるしです。春の日が一日一日と伸びていくにつれ、木々の新芽が勢いよくふくらみはじ

めまします。これをみた古人が緑色の神秘を感じたのは当然だつたでしょう。人間の赤い血液と、樹木の緑の葉緑素とを色こそ違え構造は似たものなのです。

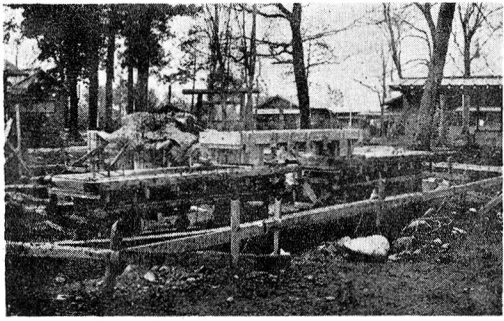
緑を生命のしるしと見立てたのは、決して間違ひではないかつたのです。五月ともなれば新緑がしたたるばかりとなり、緑野はいよいよ生氣をみながらせま

色彩学の方でいうと、赤が刺激作用があるというのに対して、緑は鎮静作用があると

落着きが必要とされる研究されています。緑色がつか

われるのはこのためです。ところで日本の山野や都市の樹木は戦時中の乱伐や戦災でずいぶんと失われました。そこで、全国的に緑の色濃い樹木を育てようとして、緑化運動が起りました。これによつて美観をととのえるだけでなく、洪水まで防ぎます。国土にとつても緑の血が必要といえます。

樹木の旗印である緑色は、成長のシンボルにふさわしく、このように効果が多いのです。



職業訓練生募集

四月入所訓練生

(一般希望者)

申込 武蔵野職業訓練所または公立職業安定所

募集期間 昭和三十九年二月三日/三月十二日

訓練生の特典

- (1)授業料教材は一切無料です。
- (2)学生割引定期券の適用があります。
- (3)溶接科、電工科の修了生には溶接士、電気工事士の免許が容易に与えられます。
- (4)失業保険受給者、生活保護適用者は修了まで引続き支給できます。
- (5)修了者には就職のあつせんをいたします

身体障害者

身体障害者職業訓練所では、職業更生の意欲に燃える身体の不自由な方々を募集しております。

その能力に適應した職業訓練を行つておりますので、希望される方は近く(青梅)の公共職業安定所に入所手続を相談して下さい。